

日赤新勞

平成26年
3月15日
発行
第224号

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区芝大門1-16-11茶乃木ビル5F
TEL (03) 3433-3028
FAX (03) 3432-4560
E メール shinro@shinro.org
ホームページ <http://www.shinro.org/>



第53回定期全国大会開催

—基本賃金の引上げ3.0%を要求—

二月二十三日カルにおいて、全国のもと、第五三回会議では、平成重要な審議が行われ前進していくこと

二五日の二日間、静岡県熱海市「ヨーフジャホテル」単組より代議員及びオブザーバー等七五名の参加確認した。

六年度運動方針案や要求書案、予算案等について慎重執行体制のもと、本年度も要求獲得に向けて力強く確認した。

となるため、成長率の回復が見込まれます。また、政府の政策効果もあり、企業の景況感は向いているところで、企業見通しでは多くの業種で経常増益あるいは経常赤字額の減少と回復基調が強まっており、特に円安効果の高い輸出産業の増益は大きなものとなっています。しかし一方で、中小企業や地方企業が景気回復を実感できるまでには至っていないのが現状です。

日赤新労におきましては二十五年度の基本賃金はベースアップなしで定期昇給のみの決着となりました。しかし、技師(士)長職の対象の拡大、深夜手当の改正と着実に要求項目を実現することができ、実りの大きな年となりました。夜勤回数超過による深夜手当の割増率の改正は看護師に特化されただけのものですが、育児・介護休業制度等により夜勤回数が増えていく看護師の皆さんの光明となれば幸いです。また、二五年度からは、その仕事の責務が変わりつつある看護助手の処遇の改善を本深交渉に新たに加え、申し入れてきたところですが、まだ思うような成果は上がっておりません。有給休暇積立制度の導入も日赤新労の新たな取組みとして要求書に加えたところですが、こちらも一歩踏み出しただけに留ま

つております。

我々日赤新労は、引き続き、日赤に勤務する組合員の生活を守り、労働環境を向上させるため、更なる活動が必要です。各施設を活性化し働きやすい労働環境を手に入れることは、多くの組合員の力が不可欠です。今後さらに一致団結して、活動の輪を広げていきましょう。

最後になりますが、今年度も新たな気持ちで出発でありますよう、皆様のご協力のほど、実りある大会になることを祈念致します。』

報告事項に入り、各部報告として組織・教育・調査の各部長より一年間の活動報告が行われた。

また、山本中央書記長から報告資料にそつて一般経過報告がなされ、週休二日制に関する医師の研究日、有給休暇積立制度要求の進捗状況、深夜手当見直しの対象職種、技師(士)長職の拡大、役職付きでの再雇用の問題等について質疑が行なわれた。

続いて、小室中央会計より平成二十五年度会計収支より平成二十五年度会計収支決算報告が行われ、松木会計監査委員からは適正且つ正確に処理されている旨報告がなされた。

単組活動報告においては各単組代表者から資料に基づき補足説明を加えて、施設交渉やレク活動等の報告

時間外勤務の取扱い等
慎重に審議されそ

- 審議事項
- 一、各部報告
- 二、一般経過報告
- 三、会計収支決算報告
- 四、会計監査報告
- 五、単組活動報告

5月11日(日)~12日(月)
東京招港店共通1・2・10

東京都港区芝浦1-3-10
「千葉シティ」近松町1



熱海大会宣

す医療環境の中、日赤新病

め
後
力強く前進することを誓い
ます。

平成二十六年二月二十五日
三原赤十字病院従組
谷満悟
以上の六項目をスローガンに掲げ、年々厳しさを増す職場環境の実現

平成二十六年度
全国会議開催予定

